

(株) えふえむ草津 第62回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和2年9月16日(木) 18時30分～20時00分

2. 開催場所 草津アミカホール(文化教室1)

3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 5名

(出席委員) 岡本直輝 奥谷美津子 岩佐卓實
松田泰子 森 健蔵

(欠席委員) 辻 信一

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)
山本正雄(事務局)

4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 番組「Happy BOUSAI ～防災スペシャル2020～」について
【第1/3週火曜日(再放送:同日20:00~/25:00~)】
※放送の翌週も同時間帯で再放送実施
パーソナリティ & ディレクター 中畠裕恵

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

(4) その他



5. 議事の概要

(1) 近況報告

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で当番組審議会は何度か休止を余儀なくされた。その間、放送業務にあたっては万全に対策を講じ安心安全に努めてきた。これから台風の時期を迎え、また地球温暖化の影響で被害が甚大化する傾向にある中でコミュニティ FM 局としての役割を担えるよう体制づくりを行っていききたい。
(詳細は、資料 1 の近況報告のとおり)

(質疑応答)

—質問—

県内放送局を招集して行われた県広報課の会議内容は？

—回答—

県議会での一般質問を受け、新型コロナウイルス感染症拡大の中での FM 局活用について、その可能性や県としての活用を探るための意見交換の場であり、今後も継続して開催されるものと思われる。

(2) 番組「Happy BOUSAI ～防災スペシャル 2020～」について

番組「Happy BOUSAI ～防災スペシャル 2020～」について、12分程度に編集した音源を聞いた上で審議に入った。

(放送事業者)

この防災番組は、現在 80 回を数えており、別紙「災害の知恵はコミュニティラジオ」に記載している草津市が防災番組で目指していることや学生との関わり、また、これまでの歩みも含めて議論いただきたい。

(番組に対する審議委員からの主な意見)

○柔らかい内容で、ZOOM を使って収録のようだが出演者も落ち着いて話しているので大変聞きやすい。

○専門的な内容、例えばハザードマップの説明を最初することも必要ではないか。リスナーが知っていることを前提にすると理解できない場合がある。また、ハザードマップがどこで入手できるのかといった情報も必要。

○草津市危機管理課の職員も出演されているので、コロナ禍の影響で草津市が行っている防災計画の修正や対策をされていると思うので、そのことに関する情報発信もあれば良いのではないかと。せっかく色々に対応されているのに勿体ない。

○様々な情報は溢れている中で、知りたい人や聞き手の立場になっていないと伝わらない。常にどんな情報が求められているのかを考える必要がある。双方向で聞き手の意見を取り入れることも大切。

○災害時の情報は、県の防災ポータルに一元化するようなことも考えないといけない。各市町村からも入力するようになってきていると思うが、処理が追い付いていないのが現状。

（放送事業者から）

情報発信は市民目線が大切だが、一方で台風などで非常体制で放送を行う際には行政との情報共有や連携が必要であるが、正確な情報を収集することが非常に困難な状況。

交通情報や電気ガスの供給状況、避難所情報などは、こちらから個々電話で問い合わせる以外に情報入手ができない。これを踏まえて、今後の対応について検討していく必要がある。

○非常時や災害時には、市役所に設置されているスタジオから放送すると、その隣に設置される災害対策本部との連携ができるのではないかと。

○草津市は災害が少ない町で安心している市民が多いのではないかとと思うが、高齢者や障害者などの弱者がイザという時にどうするのかも考えておかないといけない。実際には自治会や自助共助で対応するしか無いと思うが、そうした情報は行政から入って来ないので、コミュニティFMに期待されている。

○これまでの放送テーマを見ると興味深い内容もあり、全てオンデマンドで聞くことができる点は評価できる。NHKなどにも取り上げてもらっているようなので、どんどん売り込んでもらいたい。

○災害ボランティアの情報やボランティアを促す仕掛けなどもあって良いのではないかと。

（3）訂正または取消し放送の実施状況

特になし

（4）その他

○南笠東まちづくりセンター入口にデジタルサイネージが設置されていて、常にえふえむ草津の放送が流れている。これはとても良い取り組みであり、他のところにも広げて欲しい。

（放送事業者から）

草津市コミュニティ事業団の職員が技術サポートして設置されたシステムであり、是非他の施設にも波及させていきたい。

○FM受信機を安価で斡旋するなど、ラジオを聞くための環境整備も考えて欲しい。

(放送事業者から)

他の自治体では、災害ラジオの購入補助を実施している所もある。草津市では屋外スピーカーとの連動を行なっているので、もっとラジオを活用し普及されるための取り組みを望んでいる。

○コロナ禍で飲食店の経営が大変だが、そうした状況に伴う広告などはあったか？
京都では、何度かCMを耳にした。

(放送事業者から)

広告の依頼は無いが、草津市が実施している飲食店応援チケット事業の告知や飲食店への電話インタビューなどを行った。

○学生はテレビを見ることも少なくなり、殆どがスマホで情報収集している。そのため、テレビのコマーシャルは高齢者向けのものが多くなっているようだ。また、最近ゴールデンタイムにACジャパンの広告が入るようになっているが、これはスポンサーが減っていることを表しているのかも知れない。そんな中で、ラジオを聞いてくれている人を増やす工夫が必要である。

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（10月2日～）
- ②当社ホームページへの掲載（10月2日～）
- ③番組「草津レポート」（10月16日12時～）の中で番組審議会の内容を放送